

**32TB
大容量**



**低価格
省スペース**



**信頼性
安定性**



ファイルサーバー構築！！

大容量のファイルサーバーを構築しようとした場合、従来の方法では、何台ものサーバーが必要、もしくは、何台ものホストサーバーに、何台ものストレージ(ディスク)を接続することが必要でした。

もちろん、サーバーとしての信頼性・安定性が必要、且つ、障害時の確実な復旧が必要なため、それぞれの冗長化やディスクのRAID構成を行うことで、サーバー構成は巨大化し、価格もふくれあがりました。

弊社では、その常識を破り、「32TB大容量」でありながら、「1台ホストサーバー+外付けストレージ2台という低価格・省スペース」のサーバー構築を実現し、しかも、「大手メーカー製のサーバーという信頼性と安定性を確保」しています。

(32TB以上の構築も可能です)

* 32TB大容量でありながら、32TBディスクを1ドライブにマウントすることに成功し、「1台ホストサーバー+外付けストレージ2台という低価格・省スペース」のサーバー構築を実現。

* IBM製サーバー+Infotrend製ストレージでの構築で、高い信頼性を確保。あらゆる部品の冗長化構成と、メインサーバー・バックアップサーバーの2重化構成により、システムの安定性の高いシステム構成を実現。

* RAID5+ホットスペア構成(ホットスワップ対応)のハードディスクを実装することにより、より安全にデータを保護することが可能であり、障害時には確実な復旧が期待できる。

* ハードディスクもサーバ用の物を使用するため、耐久性、スピードに優れ、信頼性が高く大人数によるアクセスでもストレス無く使用可能。

平均転送レート; 約280MB/sを実現

サーバー構成 (2009/9時点の構成)

Host Server; 1台 (IBM製 IBM System x® 3650シリーズ)
HDD Storage System; 2台 (Infortrend製 FC4G to SATA II RAID)



Host Server; IBM製 IBM System x® 3650シリーズ

	主要スペック
CPU	Intel Xeon-X5260 3.33GHz
メモリ	8GB(メモリRAID)
HDD	146GB 15K SASHS HDD RAID1
電源	835Wホットスワップリダンダント電源
OS	RedHatEnterpriseLinux(v5)

4GB Fibre Channel接続



HDD Storage System; Infortrend製 FC4G to SATA II RAID

	主要スペック
本体	Infortrend製 FC4G to SATA II RAID 24U Rackmount
メモリ	ASIC226コントローラ専用2GBメモリ
HDD	SA1000HH(HDD1TB S-ATA) × 24 <ストレージディスク1式につき> HDD24台 = 7台RAIAD5(6TB) + 7台RID5(6TB) + 6台RAID5(5TB) + 4台ホットスペア →フォーマット後の実容量を約16TB確保 ストレージディスク2式合計で約32TB確保 Single RAIDコントローラ
電源	405Wホットスワップリダンダント電源

StorageのDisk構成 ; 1式につきHDD24台

HDD7台でRAIAD5構成(約6TB)

1TB HDD	1TB HDD
1TB HDD	1TB HDD
1TB HDD	1TB HDD
1TB HDD	

HDD7台でRAIAD5構成(約6TB)

1TB HDD	1TB HDD
1TB HDD	1TB HDD
1TB HDD	1TB HDD
1TB HDD	

HDD6台でRAIAD5構成(約5TB)

1TB HDD	1TB HDD
1TB HDD	1TB HDD
1TB HDD	1TB HDD
1TB HDD	

GlobalHotSpare HDD4台

1TB HDD 1TB HDD 1TB HDD 1TB HDD